

赤平市 プロフィール

名前の由来

「赤平」はアイヌ語で「山稜のガケ」を意味する「アカピラ」に由来する。

赤平市の歴史

赤平市は、明治24年に開拓の鋤がおろされ、大正7年に、茂尻炭礦が開鉱し、「石炭のまち」の歴史が始まりました。

その後、人口が増加し、大正11年4月1日、歌志内村から分村して2級町村赤平村が誕生、さらに昭和18年2月11日町制を施行、そして昭和29年7月1日道内18番目の市となりました。昭和35年4月（住民基本台帳）には、人口もピークの59,430人を数えましたが、昭和30年代後半から、石炭産業の衰退を余儀なくされ、平成6年には最後の一山が閉山し、赤平の「石炭の歴史」に幕を下ろしました。

しかしこの間、鉱業都市から工業都市へと産業構造の転換を図り、厳しい情勢を乗り越えながら確かなまちづくりを進めてきました。

現在、第5次赤平市総合計画の「あふれる笑顔 輝く未来を創造するまち」の将来像に向け、市民の力を集結して取り組んでいます。

赤平市の位置と面積

赤平市は北海道のほぼ中央部にあって、東端は東経142度9分10秒、西端は東経141度58分40秒、南端は北緯43度28分44秒、北端は北緯43度38分44秒にあります。

東は芦別市、西は滝川市、南は歌志内市、北は深川市に接しており、東西に約14.1km、南北に約18.5kmで、市域面積は129.88km²です。

赤平市の花・木・鳥

赤平市の花 菊
(昭和48年9月25日制定)



赤平市の木 カエデ
(昭和56年3月23日制定)

赤平市の鳥 ヤマガラ
(平成8年2月26日制定)



市民憲章

わたしたちは、空知川にはぐくまれ、石炭によって発展した赤平の市民です。この郷土に誇りと責任をもちより豊かな美しいまちをきずくため、この憲章を定めます。

- 1.いたわりと笑顔をまちにひろめましょう。
- 1.よく学びつくりだす芽をそだてましょう。
- 1.きれいな花と緑でまちをつつみましょう。
- 1.たくましいはたらく力をのばしましょう。
- 1.みんなで語りみんなのまちをつくりましょう。

(昭和49年7月31日制定)

市章

頭文字「赤」を図案化し、その左右に開く両端で将来飛躍発展の市勢を表わし、外円は市民の和（輪）向上団結を示し、明日に躍動する赤平市を描いたもの。



(昭和41年12月2日制定)